

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年9月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670900267
法人名	有限会社さつま福祉会
事業所名	グループホームさつま苑
所在地	鹿児島県伊佐市大口針持1235番地8 (電話) 0995 (25) 2000
自己評価作成日	平成28年7月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

小学校・郵便局・駐在所・病院等が半径300mにあり、家族と地域住民との交流が確保できる環境にあります。温泉施設があり利用者の家族知人にとっても癒しの場として、ゆっくりくつろぐことができます。苑にも温泉を引いてあり、ゆっくりと温泉浴を楽しんでいただいています。家族・地域住民との定期的な情報交換・勉強等相互に研鑽する仕組みつくりと共に、利用者に対して環境の変化が少ないよう工夫しながら、イベントなどを通じて日頃より交流を図り、なじみの関係づくりに努めています。また、利用者が地域の中で暮らし続けることを、大切にした理念を地域の方々に理解してもらえよう、家族も含め校区コミュニティ・老人会・地元小学生・保育園・ボランティア団体などと、伊佐市への、さつま町・さつま川内市よりの玄関口として苑の公園・針持川や、さつま苑前の国道に花いっぱい運動を行っています。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成28年8月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

伊佐市郊外ののどかな田園風景の広がる地に建てられているグループホームである。中心の市街地からは離れているがホーム周辺には小学校・郵便局・駐在所・病院等の社会資源も多く、自然環境にも恵まれて田園風景は日常の散歩で四季を感じさせてくれる。また、隣接する温泉施設や法人の運営するディサービスに訪れる地域住民との自然体での交流もあり、利用者も温泉施設を買い物で利用するなどしている。

夜間の安全対策として夜勤者に加え宿直者を常時確保しており2ユニット3人体制の勤務としている。また、職員体制に余裕を持たせており、常勤の職員の離職が少なく働きやすい職場環境を整備している。

訪問看護ステーションとの連携が図られ、日常の健康管理はもちろん、緊急時や重度化及び終末期においても看護師を通じてスムーズな対応がなされている。

家庭的な雰囲気での造りで明るい利用者の表情からも拘束のない安全で自由な生活が送れている様子が伺われるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着の意義を踏まえた理念を掲げている。理念は玄関や食堂・廊下に掲示し毎日スタッフと利用者一緒に唱和して理念を元にしたケアを実践している。	職員の意見を集約して作成した理念である。理念は職員の目につきやすいフロアや廊下、玄関に掲示してパンフレットにも明記している。毎日唱和して理念の共有と実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域や小学校から行事の招待を受け参加している。苑の行事には小学校や保育園、踊りのボランティアの参加も頂いている。近隣の方から野菜を頻繁に頂いている。	校区の小学校との交流があり学習発表会の見学に出かけたり七夕飾り作りをホームで一緒に行くなど利用者に喜ばれている。また、近隣の保育園との交流や地区サロンの催し物見学にも出かけるなど地域との交流がなされている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症ケアの専門として地域住民の方々との交流の中で支援方法等を話したりグループホームの役割・認知症について理解していただけるよう説明等している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に行政・地域の関係機関各ユニット毎の家族代表の参加を頂き推進会議を開催している。ホームの現状報告や質問に答えている。又行政より情報を頂いたり質問や相談に対応して頂きサービスの質の向上に活かしている。	老人クラブ・民生委員・地区民代表・駐在所員・保育園関係者・家族・行政等の参加を得て2ヶ月に1回開催している。参加者からの情報や意見・助言等をサービス向上と運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行事と推進会議をだき合わせ利用者やホームの現状を理解して頂いている。生活保護受給者の方への面談も年に数回あり相談や情報の共有ができ協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に毎回出席してもらっており、ホームの実情や取り組みを積極的に伝えている。また、生活保護受給者もおり、担当者との連携も図られている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束による弊害を勉強会等を行いスタッフ全員が理解している。日々のケアの中で身体拘束になる声かけがない様に注意し利用者の行動を抑制しない支援に努めている。	定期的な勉強会や日常疑問等が生じたら都度検討するなどして禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解できるように取り組んでいる。日中は出入り口の施錠はせずに職員間の見守りと連携で安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全スタッフが日常何気なく使っている言動の中で虐待がないかお互いに気をつけ注意するよう努めている。虐待防止の勉強会も行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護について学習理解して必要時活用し支援できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に考えられるリスクや利用者の変化に伴い契約解除に至る場合も含め十分な説明を行い家族からの不安や疑問点などを聞き決定同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の訴えや意見・不満・苦情に耳を傾けミーティング等で話し合い改善している。又家族からの要望も来苑時に聞き取り改善や希望に添うように努めており結果を報告している。	来訪時・電話連絡時・家族を交えた行事・運営推進会議等で家族からは意見や要望を聞き出すように努めている。出された意見・要望は職員間で話し合って運営やサービス向上に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の生活の中や月1回の職員会議の中で意見や要望を出し、運営に反映している。ホールの畳をフローリングに張替えが実現している。	基本全員参加の職員会議を毎月行って職員の意見・提案を話し合っている。介護福祉士・ケアマネージャーの資格取得も促しており働きながら学べる環境も支援している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に向けた支援を行い研修会への参加を呼びかけ各自が向上心を持って働けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフの経験や力量に合わせた研修会への参加や資格取得に働きかけている。又月1回の職員会議等で勉強会を行い自らの向上して行けるように働きかけている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型事業所の連絡会の中で学習会に参加したり近隣のグループホームとの交流があり相談や苦情交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時前に必ず家族・本人と面談し身体状態・生活歴・希望・心配事などの思いを聞き、安心して生活できるように努めている。可能な限り入居前に見学に来て頂いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始前に家族の方と面談を行い不安や困っている事、要望等を聞き、家族の思いをしっかり受け止め支援方法を提案、納得して頂き又家族の気持ちに寄り添い信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の方、一番困っている事は何かしっかり見極めすぐに対応し不可能な事は他のサービス等を紹介し援助が受けられるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフは利用者の方々から学べる事も多く、人生の先輩として尊敬している。互いにくつろぎ、安らぎ支え合って関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんの日常生活の様子や状態・変化等を家族に伝えお互いの情報を共有化し家族と同じ思いで一緒に支えていく気持ちであることを理解して頂けるように関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの病院への通院や主治医の往診を受けている。知人や友人の面会がある。地域の催し物に出かけ顔馴染みの方の交流もある。個別支援で墓参りも行っている。	家族の協力をもらいながら墓参り、冠婚葬祭、外出、一時帰宅、美容室の継続など馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。また、隣接のディサービスや温泉施設利用の知人とも訪ね合うなどの交流を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者それぞれの性格や心身の状態を十分に把握し、孤立しそうな利用者にはスタッフが間に入り利用者同士が関わり支え合えるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設へ移られたりしても面会に出かけたり家族と連絡を取り様子を聞いたり相談の支援も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	いつも笑顔で優しい介護に努め一人ひとりとゆっくり話しをしコミュニケーションを図り利用者様の思いや意向の把握に努めている。困難な場合も本人の思いに寄り添っている。	日常の会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情、言動、家族や関係者からの情報、職員からの投げかけなどで本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人・家族と面談しこれまでの生活歴等を聞き入居後も本人・家族・知人より情報を収集し出来る限り馴染みの暮らしの支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムや、その方の心身状態に合わせ無理のない充実した日が過ごせるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意向や要望を尊重し毎月のケア会議で話し合い主治医や関係者・職員の意見を反映した介護計画を作成している。3ヶ月に1回はモニタリングを行い計画の見直し現状に即した介護計画を作成している。	入居時に本人・家族の希望や意向を聞き取り、主治医・職員の意見を取り入れて本人本位の介護計画を作成している。毎月カンファレンスを行って日常の生活の変化や密な情報を見直しに反映させている。変化がなくても定期的(3ヶ月)な見直しを行って現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に日々の様子や変化を日中・夜間帯で記録し職員間で情報を共有し、介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者一人ひとりの、その時々状況に応じて突発の病院受診や外出等の支援に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様が安心・安全に暮らせるように民生委員・老人クラブの方々に苑の行事に参加して頂き意見交換する機会を設けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。原則として家族の通院をお願いしているが状態を報告し必要な時は同行している。往診もあり連携をとって適切な医療が受けられるように支援している。又定期的、緊急時の医療連携体制を整えている。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診となっている。受診は家族をお願いしているが本人・家族の状況に応じてホームでも柔軟に受診同行している。訪問看護ステーションとの契約により密な健康管理も行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の心身状態の変化に気づき看護職員や訪問看護師に伝え適切必要な受診や看護が受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>家族を交えて担当医と話し合い苑での対応可能な段階でなるべく早期退院が出来るように取り組んでいる。お互いの情報の交換や相談をし関係作りを努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時にホームの看取りケアに対する方針を契約書に明文化し家族に説明している。状態変化の度、主治医の意見を含め話し合いを持ち家族の考えを確認し方向性を共有し最大限の看取りケアを行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの方針は指針を作成して入居時に家族に説明している。入居後は利用者の状態変化に伴い主治医の判断のもと家族と話し合い、方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。これまでに看取りの経験もあり、主治医・看護師・家族・職員がチームとなって支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>心肺蘇生法、異物除去の訓練を勉強会にて実施している。緊急マニュアルを作成している。外部の研修にも参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の訓練や防災頭巾、各部屋の入口に利用者の移動手段を書いたカードを準備している。独自の夜間想定訓練も実施している。</p>	<p>年2回自主訓練を行っており火災報知設備会社との協力体制を築いている。居室の名札に利用者の移動手段となる福祉用具名を明記し、玄関に防災頭巾も準備している。スプリンクラー、自動通報システムは設置済みで備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護の勉強会を行っている。排泄や入浴など羞恥心に特に注意をしている。排泄量の記録の伝達はプライバシー保護の配慮に努めたケアを行っている。	個々に応じてプライドを損なわないような言葉かけや対応を行っている。特に排泄支援における声掛け等は自尊心や羞恥心に配慮するように心がけている。定期的な勉強会も行ってサービス向上や職員の資質向上に取り組んでいる	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で思いや希望を表現しやすい雰囲気作りに努めアドバイスは行いうるだけ自己決定ができる様支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの体調・希望などを第一に考え、その方のペースに合わせ柔軟な支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服や髪型は利用者様の希望を取り入れ好みの服装や髪型などが出来るように支援している。又、行事等では特におしゃれができる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の希望を取入れながら献立を作成し味見・下ごしらえを一緒に行っている。誕生日・季節毎の行事にはその方の好み要望に添ったメニューを作っている。食後テーブル拭きをして頂いている。昼食はスタッフと一緒に会い会話や笑いの絶えない食事時間となっている。	個々の力量に応じて菜園の収穫や下ごしらえ、台ふきなど出来ることは職員と共に行っている。また、季節の行事食など趣向を凝らしている。ときには、ファミレスで外食したり気候のいい時期は玄関先の軒下でお茶を楽しんだり近くの公園におにぎり持参で出かけるなど「食」を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事・水分摂取量をチェックし記録表に記入している。一人ひとりの状態に応じ量や味付・形態に配慮している。水分量や食事量の少ない方に対しては代替品や本人の好みの飲み物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性をスタッフ全員が理解しており一人ひとりの状態に応じた口腔ケアを毎食後確実に支援している。毎を週1回薬剤による義歯洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を基本として声かけの工夫を行い自分で出来ることはしていただけるように支援を心がけている。	身体状況に問題がない限り日中はトイレでの排せつを支援している。また、自立している利用者には現状維持できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響をスタッフは理解しており食事の中で水分補給や食物繊維・乳製品や摂取できる様に努めている。またリハビリ運動や歩行によって自然排便ができる様に取組んでいる。困難な方には主治医と相談し投薬による排泄支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	お風呂は温泉をひいている。週3回が基本であるが希望により柔軟な対応をしている。身体状況に合わせて日時の変更や声かけの工夫を行い利用者が楽しみのある入浴になるように支援している。	温泉浴を楽しめる環境にあり、週2～3回を目安としているが個々の希望や身体状況に応じて柔軟に支援している。入浴をためらうの利用者には個々に応じた対応の仕方でも無理なく入浴してもらえるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣・状況を把握し散歩・リハビリ体操・レクリエーション等その方に合わせた日中活動を促し安眠できるように支援している。日中もその方の状態に気を付け休息の声かけをしている。又夜間不眠の方には主治医に相談し薬剤を含めた安眠策を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を個人のケース記録にファイルし薬の内容副作用等がいつでも把握できるようにしている。誤薬・飲み忘れがないように名前・日付・等を数回確認し手に乗せたり口に入れるなど確実に服薬できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の下ごしらえ後片付けなど出来る事をしていただき感謝の言葉を伝え役割を持つ喜びが持てるように支援している。苑の周りを散歩したり利用者様と相談しながら外出したり花見等季節の行事を楽しめるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの体調を考慮しながら散歩したり季節毎の花見やドライブに出かけている。又本人の希望に添って家族の協力を頂き自宅に帰られたり外食・見舞墓参り等に出かけられるよう支援している。	日常的には自然環境に恵まれたホーム周辺の散歩で季節を感じながら気分転換を図っている。ときには、小学校や地域の行事見学、県下一周駅伝応援、季節の花見、ドライブなどの苑外行事も行っている。また、家族の協力ももらいながらの個別の外出や本人希望の買い物支援も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の希望や能力状態に応じて自分で管理し外出時に買い物をされている。又お金を預かっている方も希望に添って買い物支援をし支払いを自分でしていたりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望に添って電話をかけたり取り次いだり支援している。又年賀状・暑中見舞い・墓参り等を書かれるように手紙の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や居間は季節の花や飾り物をして季節感を取入れている。テレビの音量・照明・室内の温度はその場に居る方に合わせ調整している。台所から料理の音・匂い・職員と利用者の談笑等生活感ある空間作りをしている。廊下には思い出が残るよう、行事や外出時の写真を貼っている。</p>	<p>共用空間のリビングは明るく開放感のある造りとなっている。台所からリビングが見渡せ、食事の準備の光景やにおいては五感を刺激して生活感を与えてくれる。ソファやテーブルが置かれのどかでゆったりと過ごせる共用空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関内外に椅子やソファを置き一人でくつろがれたり利用者同士外気浴や話を楽しめるように工夫している。又いつでも居室へ帰る事ができ一人の時間等を過ごせるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時等使い慣れた家具・テレビ・日用品などを持ち込んでいただき、その方の好みや使いやすく居心地良く過ごせる居室作りをしている。お位牌やご遺影を持ってみえてる方もある。	タンス・テレビ・お位牌・家族の写真やお気に入りの飾り物など馴染みの物品が持ち込まれて居心地良く過ごせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体機能に合ったベッドの高さ・手すり・杖等を使用し安全で自立した生活が送れるように工夫している。トイレ・居室等に表札をつけ自立した生活を送れるように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない